

# 留萌材の販路拡大のための取組について

留萌振興局森林室普及課 安元岳玄

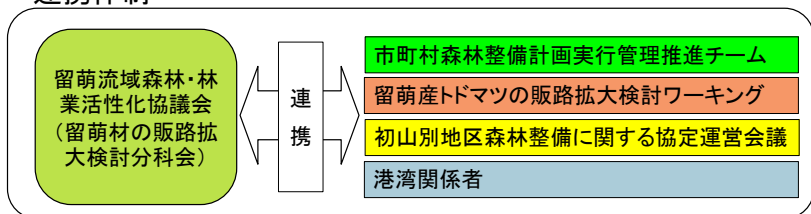
## 留萌流域の現状

- ◆ 留萌流域には、木材加工施設が3社と少ない
- ◆ 留萌流域産トドマツの3分の2は上川・宗谷総合振興局管内の工場で消費されている
- ◆ 留萌流域のトドマツの年間素材生産量は約3万m<sup>3</sup>で、半分は国有林
- ◆ 留萌流域はトドマツ資源量の割に、利用量が少ない

## 課題と課題解決に向けた取組

「トドマツ材の安定供給」や「留萌流域での木材利用の推進」等を課題と捉え、留萌流域森林・林業活性化協議会に『留萌材の販路拡大検討分科会』を設置し、市町村森林整備計画実行管理推進チーム等と連携しながら、留萌材の販路拡大に向けた取組を実施

### 連携体制



### 留萌材の販路拡大のための実行計画 (H25～H29)

- 1 木材流通状況の把握と販売促進
- 2 利用可能間伐材等の木材供給量の把握
- 3 地域材利用拡大の推進
- 4 所管を越えた安定供給の仕組みづくり



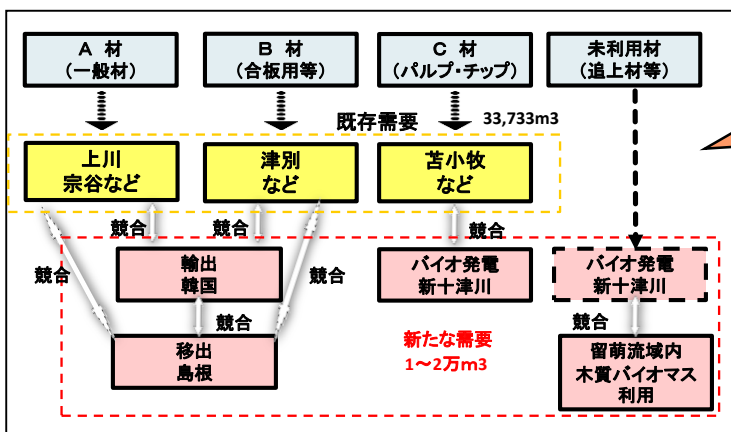
輸出に向け留萌港に集積されたトドマツ材

### 木材利用・需給等に係る平成25年度の主な取組と成果

- ① 製材工場等へのアンケートや聞き取り調査を実施
  - ・中丸太を主体に受け入れ、稼働率平均8.2%等の実態把握
- ② 港への集荷方法の検討や移輸出先に関する情報収集及び調整
  - ・H26.5 韓国に輸出予定
- ③ 木質バイオマスの当流域に合った利用について検討・セミナー開催
  - ・木質バイオマスのエネルギー利用への意識向上、小学校に木質バイオマスボイラー導入決定

## 今後の新たな需給の動きとそれに応じた取組

現在、実行計画の内容に沿って販路拡大の取組を進めているなか、新たな需要の動きが生まれており、その状況も踏まえて今後の取組を継続実施



### 見込まれる新たな需要

- 1 木質バイオマス発電のための需要増
- 2 留萌港からの輸出
- 3 トドマツによる合板需要増
- 4 留萌における木質バイオマス利用

『需給バランスの調整』『事業体の確保』等が必要

### 実行計画に基づくH26の取組

- (木材需給に係る項目のみ抜粋)
- ・最終ユーザーを対象とした需要・供給等の把握
  - ・留萌港からの輸出について情報収集及び韓国への留萌材輸出の取組
  - ・現地調査により供給可能量を径級・品質別に把握
  - ・導入検討チーム等で木質バイオマスの供給体制や集材方法の検討等

お問合せ 北海道留萌振興局 森林室 普及課  
電話：0164-42-8404